

2023年

# 図書館だより 4月

〒855-0036 島原市城内一丁目1202 島原図書館 0957-64-4115

## ひらいてとじた 笑顔がふえた



2023・第65回 こどもの読書週間  
4/23～5/12

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。

もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか…。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

### 令和5年度 郷土史を学ぼう会 受講者募集

今年度も「郷土史を学ぼう会」(月一回)を開催します。受講を希望される方は、お電話または図書館カウンターにてお申し込みください。

◆日時 4月22日(土) 午後2時

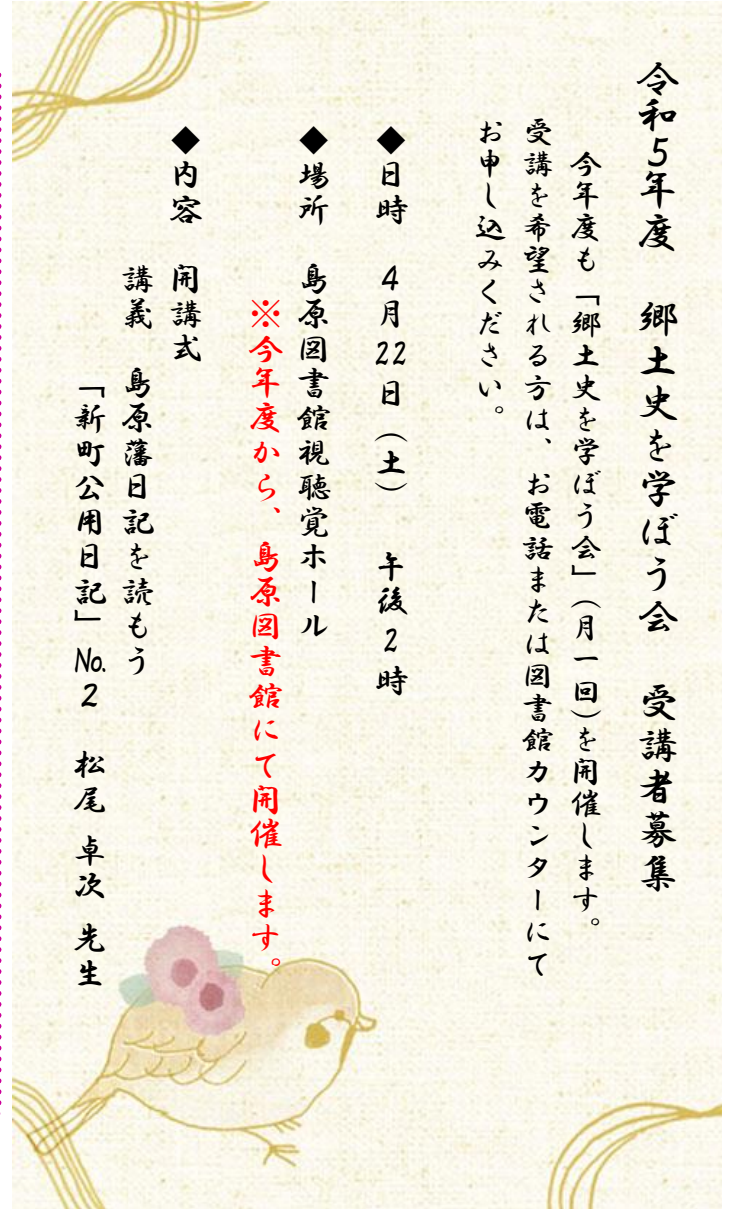
◆場所 島原図書館視聴覚ホール

※今年度から、島原図書館にて開催します。

◆内容 開講式

講義 島原藩日記を読もう

「新町公用日記」No.2 松尾卓次先生



## 4月の行事予定

※令和5年3月19現在の予定です。

日	月	火	水	木	金	土
						1 おはなしのじかん 11:00
2	3 休館	4	5	6	7	8 おはなしのじかん 11:00
9	10 休館	11	12	13 子どもの本を読む会 13:30	14 さくら読書会 10:00	15 おはなしのじかん 11:00 文連読書会 13:30
16	17 休館	18	19	20 句楽会 13:00	21	22 たんぽぽまつりおはなし会 11:00 郷土史を学ぼう会 14:00 (島原図書館視聴覚ホール)
23	24 休館	25	26	27 おはなしのじかん 0.1.2 11:00	28	29 おはなしのじかん 11:00
30 資料整理日 (休館)						

# 新刊案内

## ●白ゆき紅ばら

寺地 はるな／光文社

行き場のない母子を守る「のぼらのいえ」から、高校卒業と同時に逃げ出した祐希。10年後、幼少のころから一心同体だった絃果を置いてきたことをずっと後悔してきた祐希は、「のぼらのいえ」に戻る決意をするが...

## ●あわのまにまに

吉川 トリコ／KADOKAWA

“好きな人とずっといっしょにいるために”、あのとき、あの人は何をした？ 10年刻みでさかのぼりながら明かされる、ある家族の軌跡。逆クロニクル・サスペンス。『小説野性時代』連載を加筆修正。

## ●君が残した贈りもの KZU 藤本 ひとみ／講談社

数学界に自分の頭脳を捧げたいと願う上杉和典は、互いの才能を認め合っていた野球部エースの早逝に触れ、彼が命を削っても成し遂げたかった真の目的を探し始める。それが自分の人生を揺るがせるものになるとは知らずに...

## ●神無島のウラ

あさの あつこ／小学館

12歳で離れた故郷の島へ戻ってきた榎屋深津。20年前の事件の記憶がよみがえり...。大人に傷つけられた子どもたちと、過去の傷を抱える若手教師の回復を描く。『STORY BOX』連載を大幅に加筆改稿。

## ●4月1日のマイホーム 真梨 幸子／実業之日本社

都内の分譲住宅に引っ越してきた5つの家族。だがある家から死体が見つかった。この土地にはかつてアパートメントがあり、大量殺人事件が起きたという噂が...。『Web ジェイ・ノベル』配信を加筆修正。

## ●君に光射す

小野寺 史宜／双葉社

小学校の教師をやめ、夜勤の警備員になってから3年。立ち止まっていた僕を動かしたのは、空腹から置引未遂を犯した10歳の少女との出会いだった。挫折を知った青年の新たな一歩を描いた物語。

## ●南風に乗る

柳 広司／小学館

米軍支配下に取り残された沖縄は「独立」に向けた闘いを開始した。詩人・山之口獏、政治家・瀬長亀次郎、沖縄資料センターを立ち上げた中野好夫。本土復帰までの「時代」と「闘い」を描く。『週刊ポスト』連載に加筆・修正。

## ●本売る日々

青山 文平／文藝春秋

江戸時代。本を行商して歩く私が見たものは、本を愛し、知識を欲し、人生を謳歌する人びとだった。本屋の目を通して村と村が発展した在郷町の住人たちの、生き生きとした暮らしぶりを描く。『オール讀物』掲載を単行本化。

## ●ミライの源氏物語

山崎ナオコーラ／淡交社

ルッキズム、ロリコン、貧困、不倫、ジェンダー...。現代を生きる私たちは名作古典「源氏物語」をどう読めるか？ 作家・山崎ナオコーラによる現代人のための「源氏物語」エッセイ。『なごみ』連載を大幅に加筆修正。

## ●伝説の家政婦沸騰ワード10 レシピ3

タサン志麻／ワニブックス

日本テレビ系番組「沸騰ワード10」で反響の大きかったレシピを収録。帆立のメンチカツ、オムライスなど、伝説の家政婦・タサン志麻が芸能人のリクエストに応えたメニューを紹介する。本体は背表紙なし糸綴じ。

ホームページからも本の検索が出来ます。お知らせ等も記載しておりますのでぜひ、ご活用ください。

島原図書館・有明図書館のHPアドレス <https://www.shimabara-city-libraries.jp/>

図書館東側駐車場 10台（うち、軽自動車3台）、西側に身障者専用駐車場1台、新生病院横駐車場 21台が利用できます。  
土日祝日のみ、島原振興局駐車場も利用できます。ぜひご活用ください。